

Take
free

ご自由に
お持ちください。

地域とともに地域医療を守る

With

厚生連情報

We protect community medicine together with the community.

01

特集 1

事業計画 2022

05

特集 2

中日新聞「LINKED」に

JA愛知厚生連の取り組みが掲載されました！

07

ホットトピックス
ホットな取り組みをご紹介します

08

INFORMATION
理事交代・病院長交代のお知らせ 他

09

公開講座

10

事業実績・今月の巡回健診予定表

11

EVENT PLUS+
緊急出勤！医療がひっ迫する沖縄県に看護師を派遣

2022

4

No.469

JA AICHI KOUSEIREN INFORMATION

地域とともに地域医療を守る

JA愛知厚生連



医療事業



保健事業



高齢者福祉事業



附帯事業
「看護師養成事業」

With you
地域とともに
地域医療を守る

第十六次中期計画の2年目として、
各事業所が事業計画を確実に達成することは最重要課題です。

本会をめぐる経営環境と課題

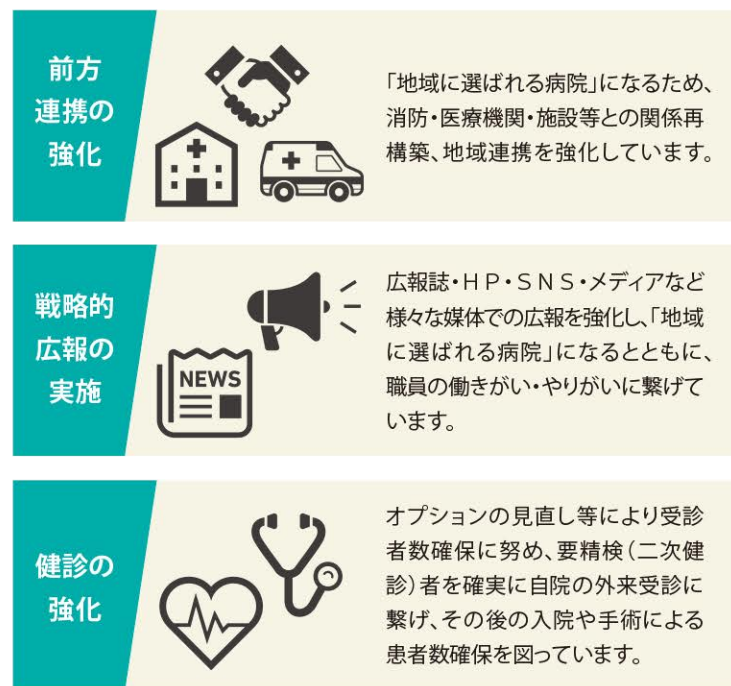
少子高齢化、国家財政の悪化、景気の低迷、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい社会情勢のなかにあります。国は、人生100年時代に向けた全世代型社会保障の構築や地域医療構想の実現を目指しており、地域のあるべき医療が問われています。私たちは、会全体で地域医療を守るため、時代の変化に対応し、地域に必要とされる医療・保健・福祉を提供していきます。



基本方針

- 1 協同組合医療を担うJ A愛知厚生連の職員として、各事業所の置かれた地域の特性について理解し、職員一人ひとりが「会全体で地域医療を守る」という意識を高め、地域医療を提供します。
- 2 行政や地域の医療機関と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応を行います。
- 3 大規模病院は、地域医療の中心的役割を果たすため、高度急性期・急性期医療の充実を図ります。
- 4 中規模病院は、その地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築に努め、地域の急性期・回復期・慢性期医療を提供します。
- 5 組合員および地域住民の健康維持・増進に貢献するため、保健サービスを提供します。
- 6 地域全体で高齢者を支える社会の構築を目指し、介護サービスを提供します。
- 7 人材が持つ多様な能力を最大限発揮できるよう、健康で生活と仕事の調和のとれた働き方改革に取り組めます。
- 8 将来にわたって地域医療を守るために、安定的な経営基盤を築きます。
- 9 内部統制の充実を図り、地域からの永続的な信頼確保に努めます。

第十六次中期計画 3 本柱



目指すべき姿

地域医療構想の進展により、地域のあるべき医療が問われています。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きく変化しました。私たちは、アフター（ウィズ）コロナを見据え、地域医療を守るため、時代の変化に対応し、地域に必要とされる医療・保健・福祉を提供していきます。



01

医療事業

地域の特性に合わせた医療を提供することが私たちの使命です。



環境認識



大規模病院 命を救う高度医療

事業方針

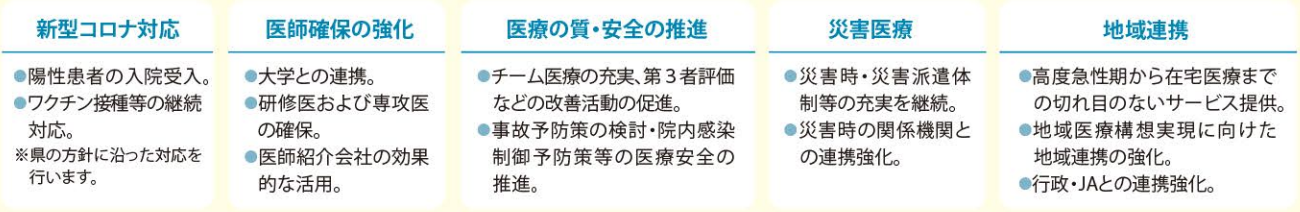
地域医療の中心的役割を果たすため、高度医療機器の整備等により高度急性期・急性期医療の充実を図ります。

事業計画

- 安城更生病院**
 - 本棟改修：SICU（術後ICU）・入退院支援センターの新設、手術室の増室。
 - 22床の増床。
- 江南厚生病院・豊田厚生病院**
 - 手術支援ロボットの導入。
※H26 海南病院、R3 安城更生病院 導入
- 海南病院・江南厚生病院**
 - がんゲノム医療連携病院の指定・機能充実。
※安城更生・豊田厚生病院指定済



全病院の取り組み



中規模病院 治し支える医療

事業方針

その地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築に努め、規模の適正化および病床機能転換を模索しながら、地域の急性期・回復期・慢性期医療を提供します。

事業計画

- 渥美病院**
 - 療養病床のあり方を含めた病床編成の見直しを検討。
 - 敷地内薬局を誘致し、患者の利便性の向上を図る。
- 稲沢厚生病院**
 - 地域医療構想に沿った病床再編・地域連携の強化検討。
- 渥美・稲沢厚生・足助・知多厚生病院**
 - 地域包括ケア病棟のレスパイト入院等の地域ニーズに応える運用を拡大。
 - 医師確保に向け、地域枠・自治医大からの派遣等に関する愛知県との連携を強化。



02



保健事業

病気の早期発見と
健康寿命の延伸に向けて
取り組んでいます。

▶環境認識

国が目指していること

2040 年に向けた社会保障改革のなかで、
健康寿命の延伸に向けた特定健診・保健
指導の実施率の向上を目指す。

新型コロナウイルス感染拡大

健診の受診控えが継続。医療機関の感染
予防対策の徹底と行政による受診勧奨が
進められている。

健康管理センターの
受診者ニーズの多様化

▶事業計画

病院 病院併設型として
機能を発揮

健診メニューの充実

特定保健指導の拡大や新規オプ
ションの提案等のメニューの充
実を図る。

精検受診率※の増加

増加に向けた取り組みを検討。
※健診異常後の外来受診率

海南病院

健診の質の向上を図るため、人間
ドック健診施設機能評価を受審。

本部 JAが実施する
健康管理活動の支援

JA あいち健診センター

- JA との連携・教育活動の充実を図る。
- 受診勧奨を継続しJA組合員と家族の
受診者増に努める。

JA が実施する健康管理活動の支援

- コロナ禍での健康管理活動や
新たな健康相談等を検討。
- 教育活動を通じて、組合員の健康意識の
向上を図る。
- コロナの状況をふまえ、JAまつり等での
健康ブース出展や広報誌を通じた健康
維持・増進への情報発信を継続。

03

高齢者
福祉事業

住み慣れた地域で
安心して暮らせる
地域づくりに取り組んでいます。



▶環境認識

令和 3 年度介護報酬改定

感染・災害対応の強化とともに介護需要の
ピークとなる2025・2040 年に向けた基盤
を整備するため、地域包括ケアシステムの
推進や介護サービスの質の評価と科学的
介護の取り組みが進められている。

介護職員の処遇改善と増員

2025 年の介護職員の必要数は 243 万人※。
2019 年就業数から約 32 万人増やす必要
がある。コロナ関連経済対策として介護職
員の処遇改善が実施される。
※第 8 期介護保険事業計画に基づく

▶事業計画

渥美病院「あつみの郷」

老朽化に対する改修を実施。

科学的介護の推進

科学的介護情報システム(LIFE)
へのデータ提供・ケアの質の向
上に取り組む。

感染・災害発生時の強化

発生時に必要な介護サービスが
継続的に提供できる体制の構築
を検討。

ICT の活用

業務の効率化に取り組む。

介護職員の人材確保

- 新規学卒者確保に向けた取り組み。
- 外国人介護福祉士の確保。
- 各種制度を活用した外国人労働者の確保。

介護職員の定着率向上

- 継続的な研修を通じた、モチベーション
の向上・キャリア形成支援を実施。

関連社会福祉法人との連携強化

- 介護職員研修・外国人介護職員の確保
についての情報交換等、連携を継続。

JA 介護保険事業の技術支援の充実

- JA 介護職員研修会および JA 高齢者
福祉事業リーダー研修会の開催を継続。

04

附帯事業
「看護師養成事業」

多様化する看護ニーズに対応できる
質の高い看護学生を育てます。



▶環境認識

看護ニーズの多様化

18歳人口の減少

学生の高学歴志向

▶事業計画

新カリキュラムの開始

令和 4 年 4 月から運用開始

ICT 教育の充実

遠隔授業やデジタル教材等を利用。

自己点検・自己評価システムの構築

教育活動の質向上を図る

- 効果的な臨地実習を実施
実習主病院と連携し、臨地実習指導者を育成。
- 看護基礎教育 4 年制化※の動向を研究
※日本看護協会提唱
- オンラインと対面を組み合わせた広報強化
- 質の高い学生の確保
近隣高校の訪問継続や指定校との連携を深め、
一般入試・指定校推薦の学生確保に努める。

05

コロナの影響

本会への影響としては、令和 2 年度に、患者
数が大幅に減少したことから、前方連携の
強化、戦略的広報の実施、健診の強化(第十六次中期計画 3 本
柱)に取り組んできました。その結果、外来患者数は回復傾向
にありますが、入院患者数の回復が遅れており、3 本柱のさら
なる強化を図る必要があります。

■ 1 日当たり外来患者数(単位:人)



■ 1 日当たり入院患者数(単位:人)



06

経営管理方針

経営
管理

- 前方連携・広報活動・健診の強化による
患者確保
- スケールメリットを生かした経費削減
- 経営管理体制の充実

人事
管理

- 働きやすい職場環境の整備
- 経営的視点を持った人材の育成
- 会全体で適正な要員管理
- 医師の働き方への対応 ● 障がい者雇用の推進

※「人材」…職員は、本会にとってなくてはならない財産と考え、「財」という漢字を使用しています。皆さんの多様な
能力や考え方を大切にして、地域医療を守る原動力になってほしいという思いを込めています。

臨時総会 全議案原案通り可決

令和 4 年 3 月 29 日、JA あいちビルにおいて
臨時総会が開催されました。

第 1 号 議案

第 75 年度(令和 4 年度)事業計画の設定について

第 2 号 議案

令和 4 年度における役員の報酬額の決定について

第 3 号 議案

退任役員に対する退職慰労金の支給について

附帯決議案

この総会において決議した事項のうち、権利義務に関係しない軽微な事項の修正及び遺漏、誤字の訂正並びに
法令その他行政庁の指示等により補正変更を必要とする場合には、その主旨に反しない範囲内においてその変更
を代表理事理事長に一任する。

以上の議案について承認可決されました。

中日新聞「LINKED」に JA愛知厚生連の 取り組みが 掲載されました！

2022年3月27日の中日新聞
LINKEDに「新型コロナウイルス
との闘い 820日の軌跡」としてJA
愛知厚生連の新型コロナウイルス
感染症への対応を取り上げていた
だきました。

今回はその要約をご紹介します。

掲載内容は、JA愛知厚生連WEB
サイト「WithMagazine」からご覧
いただけます。

<http://www.jaaikosei.or.jp/magazine/>



表紙



2019年12月、
中国・武漢で確認された新型コロナウイルスは、
私たちの社会や医療を大きく揺さぶりました。

2年以上にわたる新型コロナウイルスの脅威に、
地域の医療機関がどのように立ち向かってきたのか、
JA愛知厚生連8病院の取り組みを振り返ります。

中面



裏表紙



Contents 01

病院長インタビュー

病院長のインタビュー記事を紹介しています。
それぞれの地域で求められる医療を提供する
ための各病院の奮闘が紹介されています。

- 安城更生病院**
「急性期医療とコロナ対応の両立をめざして。」
- 渥美病院**
「職員が使命感を持ち、臨機応変に対応。」
- 江南厚生病院**
「One for all, All for oneの精神で、職員が団結。」
- 海南病院**
「コロナ禍であっても救急医療を守り抜く。」
- 豊田厚生病院**
「陽性者が出ても広がらない対策を。」
- 稲沢厚生病院**
「地域のかかりつけ病院として日常の診療を守りたい。」
- 足助病院**
「地域密着の病院としてワクチン事業に貢献。」
- 知多厚生病院**
「DMATの派遣要請や検疫所からの依頼に対応。」

Contents 02

数字で見るJA愛知厚生連の記録(2022年2月末現在)

- 新型コロナワクチン接種実績 **183,524回**
(個別・職域・大規模集団接種の接種回数)
- 8病院による接種に加え、愛知県から大規模集団会場の運営要請があり、県民の接種率向上や市町村の進捗格差是正を果たすべく、民間の医療機関として唯一運営を担ってきました。
- コロナ確保病床数 **142床**(重症病床16床を含む)
- コロナ陽性入院延患者数 **19,491人**、
コロナ陽性入院実患者数 **2,048人**
- 愛知県全体の確保病床数は、**1,888床**であり、JA愛知厚生連の8病院が愛知県全体の10%弱をカバーしていることになります。

Contents 01 理事長あいさつ

新型コロナウイルスが初めて確認されてから2年以上が経過しました。この間、私たちは行政や医師会の方々と協力し、発熱外来や入院治療、ワクチン接種などに精力的に取り組み、地域の感染症医療を支えてきました。職員も感染の恐怖や不安に耐えながら最前線で活動してきました。その強い使命感と献身的な働きに対して、地域の皆さまから患者や励ましのお言葉をたくさんいただき、職員一同大変勇気づけられております。

これまで世界を震撼させてきた新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチンや治療薬の開発により、一般的に対処できる疾患に変わりつつあります。私たちはコロナと共存する社会を見つめ、地域医療を立て直していかなければなりません。幸い、コロナを機に、多くの教訓や課題を得ることができました。それらを踏まえ、JA愛知厚生連設立の原点である「受ける側の立場に立った医療の実現」を柱に、地域に求められる医療・保健・福祉をめざしてまいります。そんな私たちの決意を、下記にまとめました。ぜひご一読いただき、地域医療への理解を深めていただくと幸いです。

JA愛知厚生連 代表理事理事長 宇野修二

Contents 02 私たちの決意

- 決意01 今よりもっと地域連携を強化します。
- 決意02 私たちの声、経験を県に、国に届けます。
- 決意03 医療人としての誇りを胸に刻み、邁進します。
- 決意04 ICTを活用し、もっと地域をつなげていきます。
- 決意05 マンパワーのさらなる確保に努めていきます。
- 決意06 分断された地域とのつながりを取り戻します。
- 決意07 将来起こりうる大規模災害に備えます。
- 決意08 地域医療構想をしっかりと議論していきます。
- 決意09 地域の皆さまに正しい情報を発信していきます。

HOT TOPICS

JA愛知厚生連のホットな
取り組みをご紹介します。

知多
厚生病院

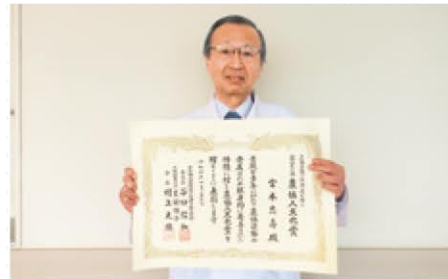
1月27日

宮本名誉院長が第42回農協人文化賞を受賞しました。

昨年12月、東京都で行われた「第42回農協人文化賞」選考委員会にて、知多厚生病院の宮本忠壽名誉院長が第42回農協人文化賞を受賞いたしました。営農事業、一般文化など各部門総勢21名の受賞者が決定され、厚生事業部門（1名）において、永年に渡り当院で地域医療に尽力された功績が認められ受賞となりました。

農協人文化賞とは…

農協法公布30周年を記念して昭和52年11月に制定され、多年にわたり献身的に農協運動の発展に寄与した功績者を表彰するものです。



▲宮本忠壽名誉院長と表彰状
※1月27日に東京都で予定されていた表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました

江南
厚生病院

2月2日

JA西春日井アグリスクールより朝市の売上金をご寄附いただきました。

2月2日、JA西春日井（後藤眞次組合長）の主催するアグリスクールより、朝市で販売した野菜の売上金をご寄附いただきました。JA西春日井本店で行われた寄贈式では、受講生代表の鈴木恵津子さんより、江南厚生病院の近藤事務部長に目録が手渡され「医療現場で頑張っている皆様へお役立てください」とエールが送られました。近藤事務部長は「皆さんの貴重な志を地域医療に活用させていただき士気を高めたい」と謝意を述べ、受講生に感謝状を贈りました。

寄贈式での記念撮影▶



海南病院

2月21日

隣接する桜小学校に素敵な「応援のぼり」が掲げられました！

2月21日、隣接する弥富市立桜小学校の皆さんから手作りの「応援のぼり」を通じて温かい励ましのメッセージをいただきました。長引くコロナ禍で児童・保護者・教職員の皆様も我慢やご苦労をされているなか、このようなご支援をいただけることに職員一同、大変嬉しく思っています。



▲手作りののぼりがたくさん出ており、職員一同感動しました！



▲海南病院の入り口側からの眺め。14本ののぼりが病院前の道路側にならんでいます

INFORMATION

1

JA愛知厚生連

理事交代のお知らせ

2月24日の経営管理委員会において、水野志朗・川口鎮両理事の退任（3月31日付）に伴う理事補欠選任が行われ、度会正人 安城更生病院病院長・伊藤浩一 稲沢厚生病院病院長が選任されました。4月1日より職員兼務理事として専門的立場から、本会業務全般にわたり、業務執行機能を担ってまいります。

理事退任



水野 志朗
平成31年4月 理事就任
(知多厚生病院病院長)



川口 鎮
令和2年4月 理事就任
(豊田厚生病院病院長)

理事就任



度会 正人
令和2年4月
安城更生病院病院長就任



伊藤 浩一
平成31年4月
稲沢厚生病院病院長就任

2

渥美病院

豊田厚生病院

知多厚生病院

病院長交代のお知らせ

令和4年4月1日付で、JA愛知厚生連「渥美病院」「豊田厚生病院」「知多厚生病院」の病院長が交代いたしました。また、前病院長は退任に伴い、名誉院長の称号が授与され継続勤務してまいります。

病院長退任・名誉院長就任



渥美病院
長谷 智
在任期間
平成25年4月～
令和4年3月



豊田厚生病院
川口 鎮
在任期間
平成27年4月～
令和4年3月



知多厚生病院
水野 志朗
在任期間
平成29年4月～
令和4年3月

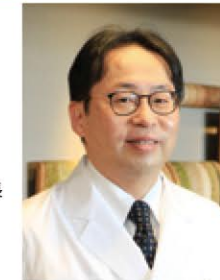
病院長就任



渥美病院
吉田 昌弘
(旧任)
副院長
兼診療協同部長
兼医療安全管理部長
兼内科部長



豊田厚生病院
服部 直樹
(旧任)
副院長
兼医療安全管理部長
兼地域医療福祉連携部長
兼脳神経内科代表部長



知多厚生病院
高橋 佳嗣
(旧任)
副院長
兼感染制御部長
兼内科代表部長



3 JA愛知厚生連 配置家庭薬事業終了のお知らせ

配置家庭薬事業は、昭和23年の厚生連設立とともに、73年にわたり組合員とその家族の健康保持増進を目的に、安心・安全な医薬品・健康食品などを提供するとともにセルフメディケーション(自己治療)の推進に取り組んでまいりました。しかし、近年は、指導員不足、ドラッグストアの進展などにより、事業継続が困難な状況となったため、令和4年3月31日をもって配置家庭薬事業を廃止いたしました。令和4年4月以降も配置薬セットの継続希望をされる利用者様に対しては、株式会社常盤メディカルサービスにおいて対応を行います。これまで長年にわたり、利用された皆様・事業に携わった全ての皆様に、改めて感謝申し上げます。

お問い合わせ先:0120-62-3160(フリーダイヤル)
受付時間:9:00~17:00(土日祝日を除く)



▲愛知県厚生連二十年史より「当時の配置家庭薬」 ▲愛知県厚生連二十年史より「当時の巡回の様子」 ▲愛知県厚生連三十年史より「当時の巡回の様子」



公開講座

4月

一般の方を対象とした、医療や福祉に関する情報です。皆さんお気軽にご参加ください。
お申し込み方法については、各事業所にお問い合わせください。

開催日/時間	テーマ	場所/講師	備考
① 4月7日(木) 14:00~15:00	がん患者さんのワクチン接種	江南厚生病院外来2階多目的室 薬剤師	要予約(定員10名)
② 4月5日(火) 13:30~14:30	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
③ 4月14日(木) 13:30~14:30	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
④ 4月19日(火) 13:30~14:30	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
⑤ 4月19日(火) 10:30~13:00	男の料理教室 Online	足助病院 栄養管理室	申込必要、Onlineの 場合は参加費無料 会場参加は要相談
⑥ 4月28日(木) 13:30~14:30	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円

お問い合わせ ① 江南厚生病院 TEL.0587-51-3333(代表)
②~⑥ 足助病院 TEL.0565-62-1211(代表)

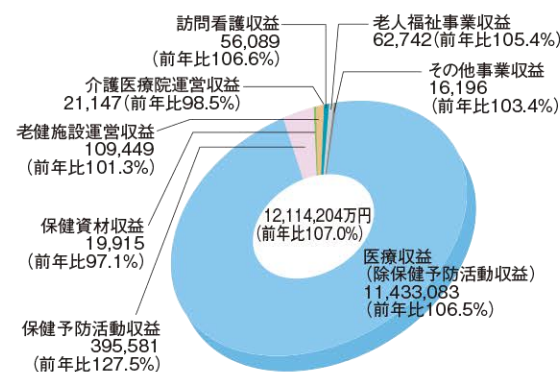
一般の方も
ご参加いただけます

※公開講座は新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合があります。また実施する講座は感染予防に取り組みながら実施します。

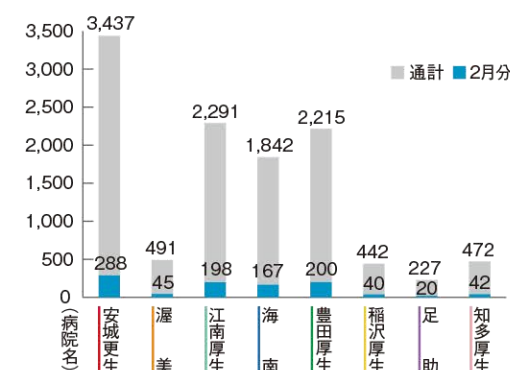


事業実績

■事業実績(2月末)
(単位:万円)



■病院別診療収入
(単位:千万円)



■病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数	
		2月	通計
安城更生(749)	外来	34,069	422,278
	入院	17,727	222,487
渥美(316)	外来	10,248	127,666
	入院	7,430	78,876
江南厚生(684)	外来	26,222	318,676
	入院	16,873	192,392
海南(540)	外来	22,673	272,444
	入院	14,752	167,094
豊田厚生(606)	外来	24,718	298,243
	入院	15,641	170,726
稲沢厚生(250)	外来	10,705	132,186
	入院	6,121	66,637
足助(148)	外来	4,702	55,686
	入院	3,908	41,900
知多厚生(199)	外来	10,727	129,328
	入院	4,703	54,934
JAあいち健診センター	外来	44	388
	入院	87,155	995,046
合計(3,492)			



新型コロナワクチン追加接種(3回目接種)の大規模集団接種会場を運営しています。

期 間 : 2022年2月5日(土)~ 毎週土日

場 所 : JA愛知厚生連 安城更生病院 1階 外来エリア

接 種 規 模 : 1日最大550人

対 象 者 : 愛知県にお住まいの方(接種券が届いた方)
※2回目接種日から6カ月以上経過した方

開 設 時 間 : 9時~17時(土日のみ)

接種従事者: JA愛知厚生連の医師・看護師等

予 約 方 法 : 県のLINE予約システム、コールセンターでの電話受付

交 通 手 段 : 名鉄三河高浜駅からシャトルバスを運行(駐車場あり)

使用ワクチン: モデルナ社ワクチン

※ファイザー社製のワクチンを1・2回目に接種した方でも、モデルナ社製のワクチンを接種することが可能です。

予約方法の詳細はこちらをご覧ください。
▶ <http://www.jaakosei.or.jp/important/53/>



SNSで情報発信中

暮らしに役立つ医療・健康・介護情報をお届けしています!



医師による病気のお話をお届けしています!



cookpad(クックパッド)

「JA愛知厚生連のキッチン」

“美味しく健康 楽しく料理”をモットーに、食の専門職である管理栄養士が作成したレシピを公開しています!

JA愛知厚生連のキッチン

▶ <https://cookpad.com/kitchen/25142366>



今月の巡回健診予定表

J A あいち健診センターの健診車が各 J A を巡回し、J A 組合員の健診を行っています。ご希望の方は各 J A 窓口にご相談ください。

4/27(水)

J A なごや味鋺支店

4/28(木)

J A なごや守山東支店

EVENT PLUS +

緊急出動! 医療がひっ迫する 沖縄県に看護師を派遣

JA愛知厚生連は、厚生労働省からの要請をうけ、新型コロナウイルス感染症第6波の感染拡大で医療がひっ迫し、医療従事者不足となった沖縄県へ看護師を派遣しました。



▲派遣された豊田厚生病院 救命救急センター看護師 市野愛実さん

市野さんが派遣されたのは、1月中旬に入院患者のクラスターが発生した病院で、医療従事者が不足した一般病棟に2週間勤務しました。市野さんは「疲弊したスタッフの力になりたい」と今回の応援派遣に自ら希望されました。



▲沖縄で勤務した病院。沖縄市街も人通りがまばらになっており、緊迫した様子でした



病院長より感謝状

派遣期間終了後は、派遣先の病院長より「入院患者や疲弊した職員にも大きな救いと励ましを与え、医療従事者不足に陥った沖縄県の医療を危機的状況から救いました。」と感謝状をいただきました。



新聞・テレビの取材も

派遣後、豊田厚生病院にて中日新聞および東海テレビの取材に応じました。市野さんはインタビューに対し、「現地のスタッフは疲弊し不安を抱えていました。患者との信頼関係を築くことや自分にできることを探しスタッフに声をかけました。」と語りました。



取材で想いを
語りました

▲川口病院長と阪口看護部長へ沖縄での活動を報告する市野さん



<沖縄県への看護師派遣の概要>

派遣期間 2022年1月16日(日)～2月3日(木)

活動場所 沖縄県内の病院、入院待機施設など

活動内容 ・新型コロナウイルス陽性患者の一時的待機施設での看護業務
・医療従事者不足の医療機関(成人病棟)での看護業務

派遣人員 JA愛知厚生連の看護師2名

本会は、第6波の対応として、
大阪府にも
本部看護課職員2名を
派遣しております。

